

近年、ヒトの活動域と野生動物の生息域間において、「Human-Wildlife-Conflict (HWC)」すなわちヒトと野生動物の軋轢が問題となっています。北海道には多くの大型野生動物が生息しており、他地域に比較しても北海道特有のHWC問題を抱えています。

一方で、One Health若しくはOne Welfareは、ヒトだけの健康や福祉ではなく、野生動物を含む動物や環境の健康や福祉も一体のものとして考えるコンセプトです。本シンポジウムでは、北海道におけるHWCのフロントランナーに、北海道における野生動物課題と共生のための道筋について講演をしていただき、最新の情報を共有します。

人間と野生生物の共生のために

北海道の最新研究と実践



参加費無料

どなたでも参加いただけます

プログラム

- 13:30~13:35 開会の挨拶
- 13:35~14:00 **講演1「クマとの衝突はなぜ増えているのか？」**
坪田 敏男(北海道大学・大学院獣医学研究院・教授)
- 14:00~14:25 **講演2「増え続ける北海道のシカとの共生のために」**
稲富 佳洋(北海道立総合研究機構工ネルギー・環境・地質研究所
自然環境部生物多様性保全グループ・主査)
- 14:25~14:50 **講演3「ゼニガタアザラシの管理を考える」**
小林 万里(東京農業大学・生物産業学部・教授)
(14:50~15:00 休憩)
- 15:00~15:25 **講演4「トドの問題を探る」**
服部 薫(水産研究・教育機構水産資源研究所・グループ長)
磯野 岳臣(水産研究・教育機構水産資源研究所・主任研究員)
- 15:25~15:50 **講演5「アライグマ問題の今後」**
池田 透(北海道大学・大学院文学研究院・教授)
- 15:50~16:20 **パネルディスカッション**
進行 石塚真由美(日本学術会議連携会員、
北海道大学大学院獣医学研究院教授)
- 16:20~16:25 閉会の挨拶
- 座長 宇山 智彦(日本学術会議第一部会員、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授)
渡辺 雅彦(日本学術会議第二部会員、北海道大学大学院医学研究院特任教授)

2023年
11月18日 土
13:30~16:25

北海道大学学術交流会館

(札幌市北区北8条西5丁目)

※Zoomウェビナーからも配信



※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

参加申込

事前参加申込制

参加を希望される方は、11月16日(木)までに下記URL又は右のQRコードからお申し込み下さい。

URL: <https://forms.gle/h1u1S1unYP9E98ReA>



お問い合わせ先

日本学術会議北海道地区会議事務局

(北海道大学 研究推進部 研究振興企画課)

Tel : 011-706-2155・2166 Fax : 011-706-4873

E-mail : suishin*general.hokudai.ac.jp

(上記 mail アドレスの*マークを@に変えてお送りください。)